

西脇市民オーケストラが誕生

来月8日発足式 「多彩な曲こなす楽団に」

アマチュア演奏家を中心に構成する「西脇市民オーケストラ」(竹内泰彦代表)が誕生した。子どもから高齢者まで幅広い世代が参加でき、団員を募集している。2月8日に西脇市西脇の西脇市コミュニティセンター西脇区会館で発足式を行う。

(伊藤大介)

団員募集中

元小学校音楽教諭市歌からクラシックまで、北はりま第九合唱団で指揮を執る横山文和さん(66)「西脇市」が昨秋、市民オーケストラの設立を提案した。西脇市には、横山さんが教員時代に指導した西脇小オーケストラ部がある一方、大人向けの市民オーケストラはなかった。横山さんは「子ども時代に音楽の楽しさを知った人に、演奏する場をつくりたかった」と意義を語る。

・22・5996



西脇市民オーケストラを結成した横山文和さん(右)と代表を務める竹内泰彦さん
西脇市役所

既に横山さんの教え子ら10人が入団し、昨年9月からバイオリン、ビオラ、コントラバス、トロンボーンなどの練習に励んでいる。

横山さんは「同じ楽器の演奏者が増えても、一向に構わない」といって、「童謡や西脇